



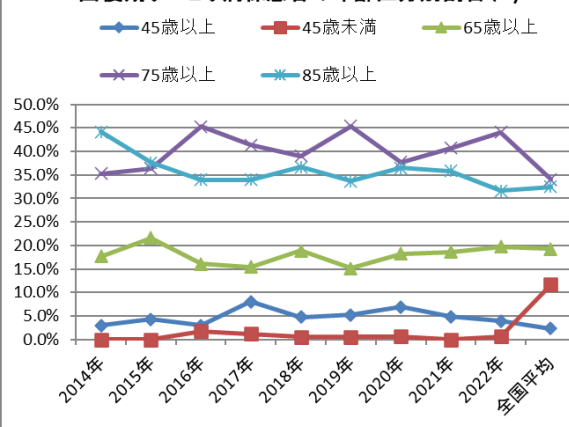
## 回復期リハビリ病棟のリハビリ効果

### <年齢構成>

回復期リハビリ病棟退院患者の年齢区分割合

	45歳以上	45歳未満	65歳以上	75歳以上	85歳以上	退院患者数
2014年	2.9%	0.0%	17.6%	35.3%	44.1%	34人
2015年	4.3%	0.0%	21.6%	36.4%	37.7%	162人
2016年	3.0%	1.8%	16.1%	45.2%	33.9%	168人
2017年	8.0%	1.2%	15.4%	41.4%	34.0%	162人
2018年	4.7%	0.6%	18.9%	39.1%	36.7%	169人
2019年	5.2%	0.6%	15.1%	45.3%	33.7%	172人
2020年	6.9%	0.6%	18.2%	37.7%	36.5%	159人
2021年	4.8%	0.0%	18.6%	40.7%	35.9%	145人
2022年	3.9%	0.7%	19.7%	44.1%	31.6%	152人
全国平均	2.3%	11.7%	19.3%	34.1%	32.5%	

回復期リハビリ病棟患者の年齢区分割合 (%)



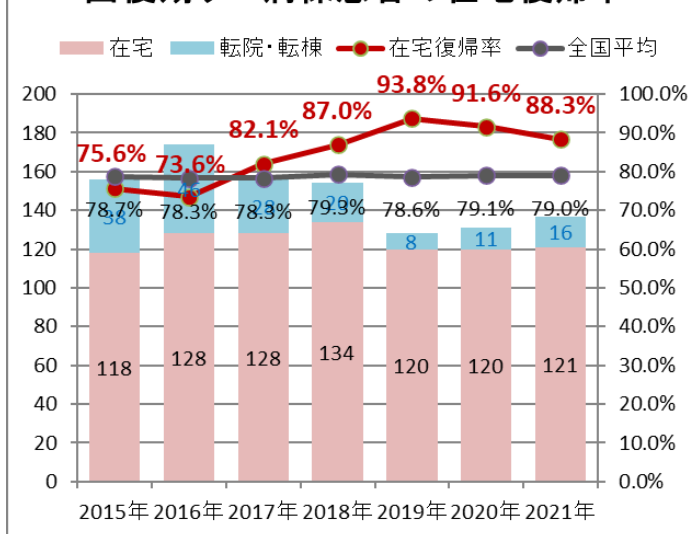
全国平均と比較して、当院は75-84歳の割合が多く、45歳未満の割合が極端に少ない傾向にあります。

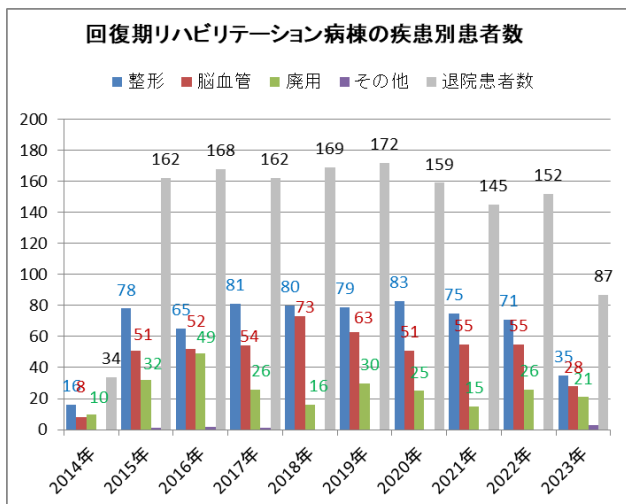
### <在宅復帰率> \*在宅系施設含む

2020年以降在宅復帰率は、減少傾向にあります。

しかし、この値は、全国平均 79.0%と比較すると高い値となっています。

### 回復期リハ病棟患者の在宅復帰率



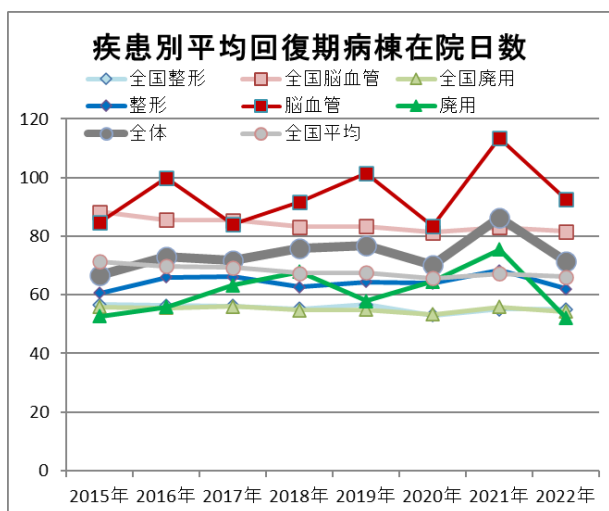


### <疾患分布>

2022年は退院患者数に大きな変化はありませんでした。

疾患割合は、廃用症候群が減少し、脳血管疾患が増加しました。

	整形	脳血管	廃用	その他	退院患者数
2014年	47%	24%	29%	0%	50人
2015年	48%	31%	20%	1%	168人
2016年	39%	31%	29%	1%	169人
2017年	50%	33%	16%	1%	170人
2018年	47%	43%	9%	0%	171人
2019年	30%	30%	37%	3%	172人
2020年	46%	37%	17%	0%	173人
2021年	52%	32%	16%	0%	174人
2022年	52%	38%	10%	0%	175人



### <在棟期間平均>

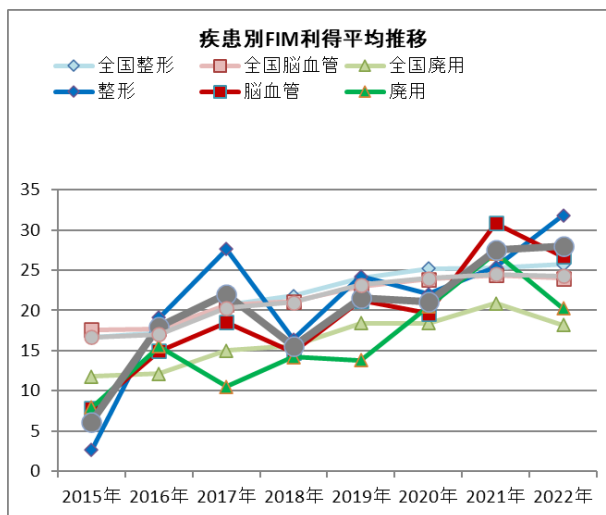
どの疾患についても、在棟期間が減少しました。ただし、全国平均と比較するとどの疾患も長期化する傾向にあります。

	当院				全国			
	整形	脳血管	廃用	全体	整形	脳血管	廃用	全体
2015年	60.7	84.6	52.8	66.7	56.7	88.2	55.9	71.4
2016年	66.0	99.9	55.8	73.0	56.3	85.6	55.6	69.8
2017年	66.2	84.1	63.3	71.7	56.2	85.4	56.1	69.3
2018年	62.7	91.8	67.9	75.8	55.3	83.2	54.7	67.4
2019年	64.3	101.5	57.9	76.8	56.6	83.3	54.9	67.5
2020年	64.0	83.4	64.6	70.3	53	81.3	53.4	65.6
2021年	68.4	113.4	75.4	86.2	55	83.1	55.8	67.3
2022年	62.1	92.7	52.0	71.5	55	81.6	54.3	66.2

### < F I M評価（利得） >

FIM 利得（最終のFIM 値-初回のFIM 値）を疾患別でみると、脳血管疾患・廃用症候群の患者で減少しましたが、整形疾患では上昇しました。

全国平均と比較すると、どの疾患でも高い値となりました。

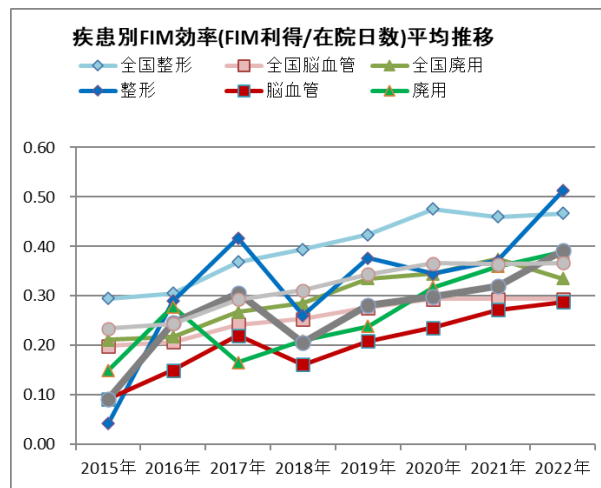


年	当院				全国			
	整形	脳血管	廃用	全体	整形	脳血管	廃用	全体
2015年	60.7	84.6	52.8	66.7	56.7	88.2	55.9	71.4
2016年	66.0	99.9	55.8	73.0	56.3	85.6	55.6	69.8
2017年	66.2	84.1	63.3	71.7	56.2	85.4	56.1	69.3
2018年	62.7	91.8	67.9	75.8	55.3	83.2	54.7	67.4
2019年	64.3	101.5	57.9	76.8	56.6	83.3	54.9	67.5
2020年	64.0	83.4	64.6	70.3	53	81.3	53.4	65.6
2021年	68.4	113.4	75.4	86.2	55	83.1	55.8	67.3
2022年	62.1	92.7	52.0	71.5	55	81.6	54.3	66.2

### < F I M効率（FIM 利得/在院日数） >

FIM 利得を在院日数で割ったFIM 効率をみると、どの疾患も改善傾向にあります。

全国平均と比較すると、脳血管疾患では同値、それ以外の疾患は全国平均よりも高い値となりました。



年	当院				全国			
	整形	脳血管	廃用	全体	整形	脳血管	廃用	全体
2015年	0.04	0.09	0.15	0.09	0.29	0.20	0.21	0.23
2016年	0.29	0.15	0.28	0.25	0.31	0.21	0.22	0.24
2017年	0.42	0.22	0.17	0.31	0.37	0.24	0.27	0.29
2018年	0.26	0.16	0.21	0.20	0.39	0.25	0.29	0.31
2019年	0.38	0.21	0.24	0.28	0.42	0.28	0.34	0.34
2020年	0.34	0.24	0.32	0.30	0.48	0.29	0.34	0.37
2021年	0.37	0.27	0.36	0.32	0.46	0.29	0.37	0.36
2022年	0.51	0.29	0.39	0.39	0.47	0.29	0.34	0.37